

科目名	西洋美術史	Subject	History of Western Art
サブタイトル	西洋の歴史的な美術作品。		
科目基本情報		ディプロマポリシー「主な学習効果」	
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術
1 年	前期	必修	
授業形態	単位	時間	
講義	2 単位	30 時間	◎
ゲストスピーカー招聘回	なし		
教員名	伊藤 淳	メールアドレス	atsushi.ito@・・・
教員の略歴	1993 年、多摩美術大学芸術学科卒業。1996 年、多摩美術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻修了。1997 年～2000 年、フィレンツェ大学文学部在籍。2001 年～、鎌倉女子大学教員として従事。2002 年～、各地の生涯学習センター教員として従事。共著「レオナルド・ダ・ヴィンチの世界」2007 年。		
実践的教育	生涯学習教育の実践で培った、多様な価値観や考え方を反映させた授業内容としている。		
オフィスアワー	授業の前後３０分に直接声をかけてください。		

科目の概要																	
21 世紀の現在、各地で様々な問題を抱えながら急激な発展、変化をしています。そうした地域の問題を理解するには、背景となっている歴史を知ることが必要不可欠です。この授業では、西洋美術という切り口で、各時代の歴史、文化、風土などを紹介し、人類が制作してきた美的遺産を総合的に考えながら、美術作品例を紹介していきます。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		-		-		-		-		-							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
美容芸術		西洋の歴史、文化、風習などに関係する美術作品の鑑賞の基礎力を習得し述べるができる。西洋美術の主題（キリスト教・ギリシャ神話など）とそこに登場する定型物の意味の基礎知識を習得し述べるができる。西洋の美術作品に登場する代表的な寓意物の基礎知識を習得し述べるができる。															
教科書・教材																	
教科書		教員作成資料															
参考文献		『大学 4 年間の西洋美術史が 10 時間で学べる』池上英洋著 KADOKAWA 2020 年															
各自準備教材		なし															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
80%		-		20%		-		-		-		-		-		-	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
試験後、個別にフィードバックを行います。																	
履修上の条件・注意																	
授業内容を記録する筆記用具、ノートなどを用意すること。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	○西洋における美とは ○西洋美術の見方	日本美術と西洋美術の特徴を説明できる。	（予習）「モナリザ」について調べてくること。 （復習）西洋と日本の美術について比較してみる。	240 分
第 2 回	○古代エジプト美術 ○エーゲ美術	古代エジプトの思想と当時の人生の美的生き方を説明できる。	（予習）古代エジプトについて調べてくること。 （復習）古代エジプトの死生観を確認する。	240 分
第 3 回	○古代ギリシャ美術	古代ギリシャ芸術のプロポーシオンを説明できる。	（予習）古代ギリシャについて調べてくること。 （復習）古代ギリシャの美的基準を確認する。	240 分
第 4 回	○古代ローマ美術	古代ローマ建築と生活様式を説明できる。	（予習）古代ローマについて調べてくること。 （復習）古代ローマの風習を確認する。	240 分
第 5 回	○初期キリスト教美術	新約聖書の物語を述べることができる。	（予習）新約聖書について調べてくること。 （復習）キリストの話の流れを確認する。	240 分
第 6 回	○ビザンチン美術	モザイクの光沢美を感じ、特徴について説明できる。	（予習）ビザンチンについて調べてくること。 （復習）モザイクの仕組みを確認する。	240 分
第 7 回	○ロマネスク美術	修道院生活における美術を説明できる。	（予習）キリスト教について調べてくること。 （復習）修道院の役割を確認する。	240 分
第 8 回	○ゴシック美術	中世の建築技術を説明できる。	（予習）中世建築について調べてくること。 （復習）ゴシック建築の仕組みを確認する。	240 分
第 9 回	○初期ルネサンス	遠近法の空間と人体表現を説明できる。	（予習）ルネサンスの意味を調べてくること。 （復習）美術とパトロンの関係を確認する。	240 分
第 10 回	○盛期ルネサンス ○マニエリスム	レオナルドなどのルネサンス三大巨匠の特徴を説明できる。	（予習）三大巨匠について調べてくること。 （復習）天才の概念を確認する。	240 分
第 11 回	○バロック美術	光と闇の演出を感じることが出来るようになる。	（予習）明暗法について調べてくること。 （復習）フェルメール作品を確認する。	240 分
第 12 回	○ロココ美術	フランスの宮廷美を説明できる。	（予習）ヴェルサイユ宮殿を調べてくること。 （復習）フランス王朝に関する作品を確認する。	240 分
第 13 回	○新古典主義 ○ロマン主義	古典美の復活とその反動を説明できる。	（予習）フランス革命について調べてくること。 （復習）ナポレオンに関する作品を確認する。	240 分
第 14 回	○印象派・後期印象派	近代都市の発展と美的価値の変化を説明できる。	（予習）印象派の画家について調べてくること。 （復習）写真が起こした影響を確認する。	240 分
第 15 回	○まとめと解説	西洋美術史の全体を通して多角的に把握することができる。	（予習）今までの授業内容について見直すこと。 （復習）西洋美術の概観を押さえる。	240 分